

## 関西観光・文化振興計画の概要

### 関西観光・文化振興計画の策定にあたって

#### 1 計画策定の背景と目的

府県という枠組みを越えて、関西を一つとして捉え、戦略的に取り組む方向を示すとともに、重点的な施策に大胆に取り組んでいくことを明らかにし、思い切った提言・ビジョンにより、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げる。

○計画期間：今後10年間を見据える。(事業推進計画は平成24年度から平成26年度)

### 関西観光・文化振興計画の概要

#### 2 観光の現状と課題

- (1) 現状 来日外国人客数は世界第30位(アジア8位)と遅れており、魅力の発信と活用が不十分
- (2) 課題 ・インバウンド市場の変化 ・戦略的マーケティングの必要性 ・情報発信の転換  
・関西ブランドの構築と発信 ・関西をまとめた体制の整備

#### 3 広域観光・文化振興計画の基本方針と目標

- (1) 基本方針 ・国際観光なくして関西の発展なし ・文化観光資源の宝庫・強みを活かす  
・関西ファンをつくる ・文化芸術の継承・創造を通じて観光を振興する  
・「関西は一つ」になって観光に取り組む
- (2) 将来像 「アジアの文化観光首都」
- (3) 数値目標 関西への訪問外国人客数について、年間約1,000万人を目指す。

#### 4 目標達成のための戦略

- (1) 「KANSAI」を世界に売り込む  
(①テーマ、ストーリーのある広域観光ルートの提案(山陰海岸ジオパークなど) ②「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開) など
- (2) 新しいインバウンド市場への対応  
(①ニューツーリズムの魅力強化 ②MICEの取組強化(KANSAI 統合型リゾートの検討)) など
- (3) マーケティング手法による誘客  
(①海外現地マーケットの需要開拓とビジネスネットワーク構築 ②KANSAI WEB戦略) など
- (4) 文化振興等との連携  
(①関西の文化芸術活動等の交流・協働と関西文化の魅力発信 ②関西の「祭り」等の活用 ③関西文化に親しむ機会の拡充(古典の日など))
- (5) 安心して楽しめるインフラ整備の充実  
(①関西国際空港の魅力向上 ②おもてなし・利便性の向上 ③観光まちづくり ④観光統計のあり方を提示 ⑤関西地域限定通訳案内士(仮称)の創設)

#### 5 実現に向けた進め方

- (1) 関西広域連合が果たすべき役割  
①リーダーシップの発揮 ②官民連携の推進
- (2) 事業推進計画(24年度～26年度)
- (3) 規制改革・権限委譲等